

【ホーム下の待避スペース】



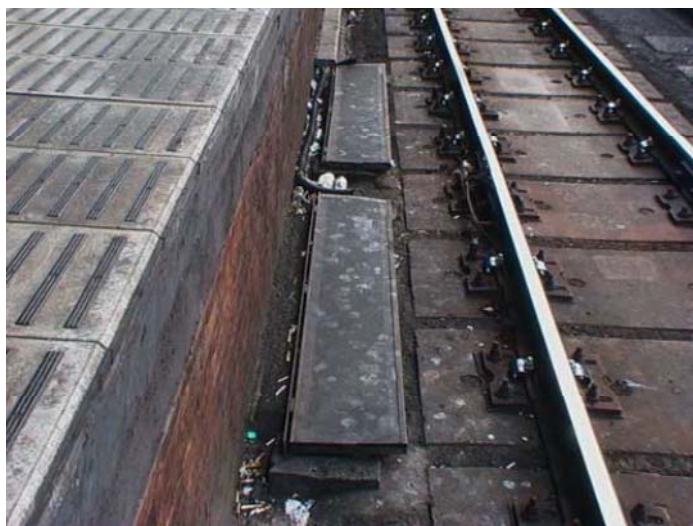
【ホームに上がるためのステップ】



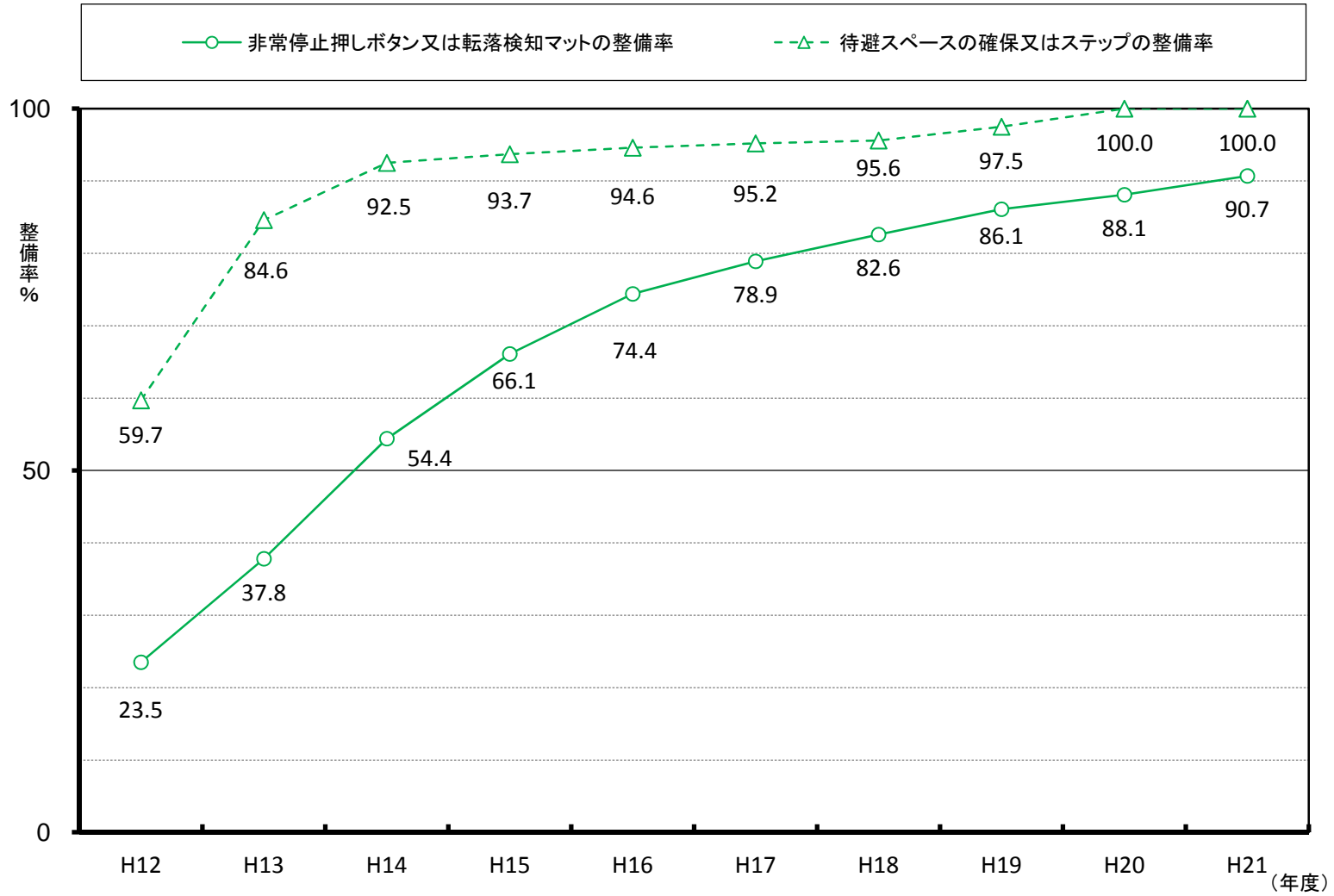
【非常停止押しボタン】



【転落検知マット】



鉄道駅におけるホームの安全対策の整備状況



対象駅: 2074駅

(列車の進入速度が概ね60km/hで運転本数が1時間あたり概ね12本以上)

ホームドア等の設置状況(平成22年3月末現在)

新設駅にホームドアを設置した路線(駅数)

12路線141駅

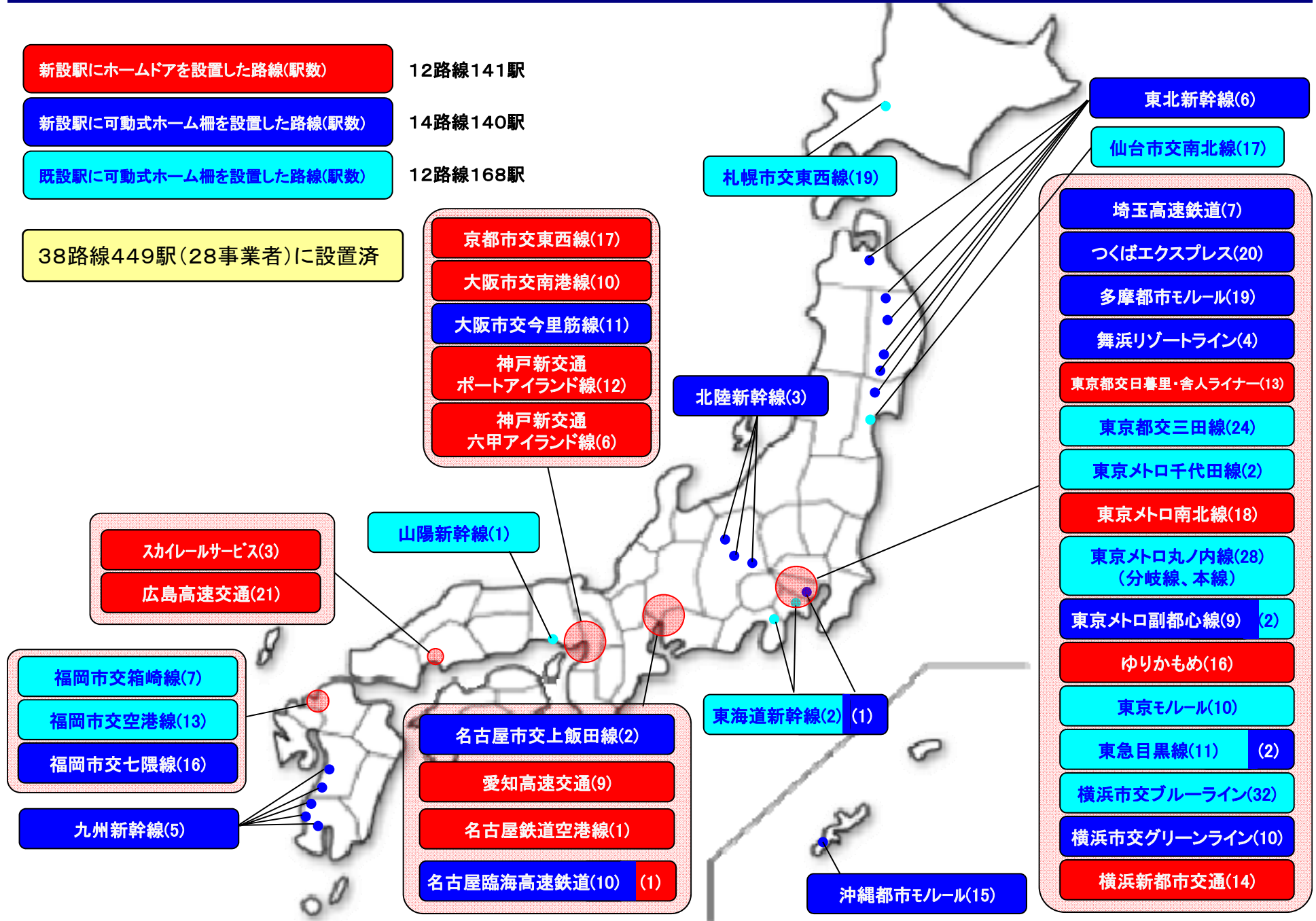
新設駅に可動式ホーム柵を設置した路線(駅数)

14路線140駅

既設駅に可動式ホーム柵を設置した路線(駅数)

12路線168駅

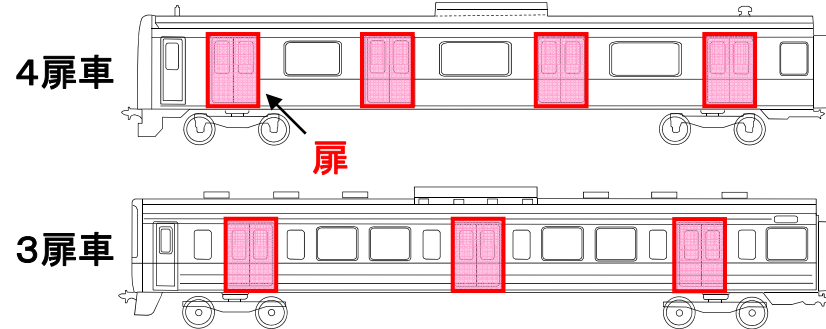
38路線449駅(28事業者)に設置済



ホームドア・可動式ホーム柵設置のために解決すべき課題

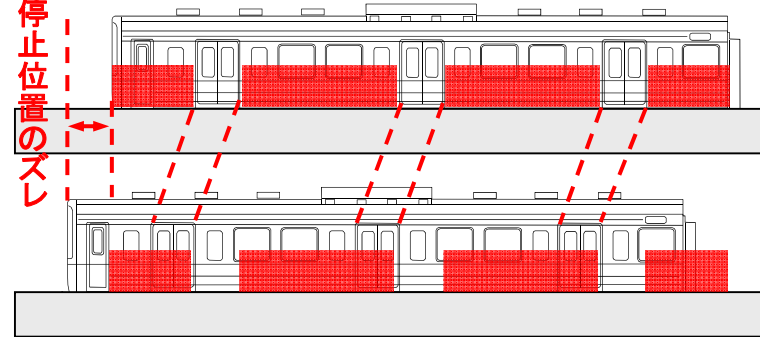
●列車の扉位置の統一化

列車の扉位置とホームドア等の開口部を一致させるため、列車扉の数等を統一したり、扉の位置に合わせ、ホームドア等の開口部の位置を変更できるホームドア等の開発が必要。



●列車の停止位置の精度向上

列車の扉位置とホームドア等の開口部を一致させるため、停車するすべての列車に、定位置に正確に止めるための設備が必要。

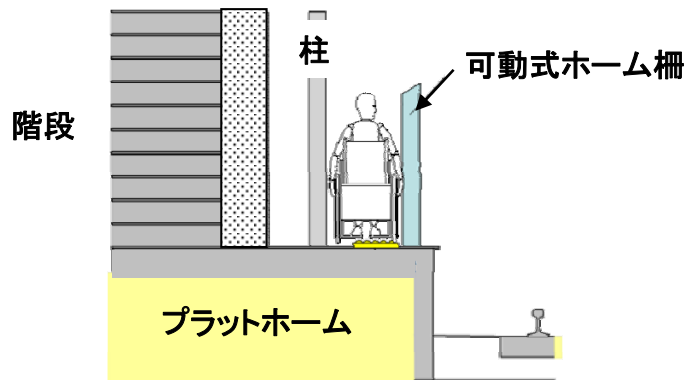


●運行ダイヤに与える影響

ホームドア等の開閉操作のための停車時分の増加等、列車ダイヤへの影響の検証が必要。

●ホームの狭隘な箇所の改修

車いす等が通行できるスペースを確保するため、ホームの狭隘な箇所の改良工事が必要。



●ホームの補強

盛土やブロック積みなど古いホームは、ホームドア等の設置にあたり、鉄筋コンクリート部材等によるホーム全体の大規模な補強が必要。



盛土式ホーム



補強されたホーム

●ホームドア等に係る維持管理費

ホームドア等の故障による、列車運行への影響を防ぐため、適切な維持管理が必要。